

## このお薬に含まれているものは？

7才～11才の小児：（1日量：2錠中）フェキソフェナジン塩酸塩 60mg  
12才～14才の小児：（1日量：4錠中）フェキソフェナジン塩酸塩 120mg

添加物：結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、軽質無水ケイ酸、ヒプロメロース、ポビドン、酸化チタン、マクロゴール400、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄

## その他

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- ・小児の手の届かない所に保管してください。
- ・他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）

### ●使用期限をすぎた製品は使用しないでください。

## このお薬についての問い合わせ先は？

### ●一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

久光製薬お客様相談室 ☎ 0120-133250  
受付時間／9:00～17:50（土日・祝日・会社休日を除く）

### ●症状、副作用等により詳しい質問がある場合は、医師又は薬剤師にお問い合わせください。

アレグラFXジュニアは、薬剤師からの説明を受け  
説明文書をよく読み、保護者の指導監督のもとに正しくお使いください。

発売元：久光製薬株式会社

〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地  
http://www.hisamitsu.co.jp

製造販売元：サノフィ株式会社 SANOFI

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

Hisamitsu®

ご使用前に必ずお読みください

1日2回の服用で24時間しっかり効く、  
眠くなりにくい

※7才～11才の小児は1回1錠、12才～14才の小児は1回2錠

日本薬局方フェキソフェナジン塩酸塩錠  
アレルギー専用鼻炎薬

要指導医薬品

小・中学生用  
（7～14才用）

アレグラ®FXジュニア

医療用と同成分・同量

※※フェキソフェナジン塩酸塩を1錠あたり30mg配合

販売名	アレグラ®FXジュニア
有効成分名	フェキソフェナジン塩酸塩
含有量（1錠中）	30mg

久光製薬株式会社

## 使用者向け情報提供資料について

使用者向け情報提供資料は、ご使用者の皆様<sup>みなさま</sup>や家族の方などに、医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。したがって、この医薬品を服用するときに特に知っていただきたいことを、わかりやすく記載しています。

本剤は、小児用（7才以上15才未満）のアレルギー専用鼻炎薬であり、ご使用の際は、薬剤師<sup>やくざいし</sup>からの説明を受け、説明文書をよく読み、保護者の指導<sup>かんどく</sup>のもとに正しくお使いください。

使用前には、「このお薬を服用する前に確認すべきことは？」の項をご確認のうえ、「服用できます」に該当<sup>がいとう</sup>することをご確認ください。また、服用後に「このお薬の服用中に気をつけなければならないことは？」の項に該当する異常等が確認された場合には、すみやかに、医師又は薬剤師<sup>やくざいし</sup>にご相談ください。

とくに以下の用法・用量に関連する注意事項にはご留意願います。「3～4日間服用しても症状<sup>しょうじょう</sup>の改善がみられない場合は服用を中止し、医師（耳鼻科医等）又は薬剤師<sup>やくざいし</sup>に相談してください。また、症状<sup>しょうじょう</sup>の改善がみられても2週間を超えて服用する場合は、医師（耳鼻科医等）又は薬剤師<sup>やくざいし</sup>に相談してください。」

また、本剤の服用による重大な副作用と考えられる場合には、直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師<sup>やくざいし</sup>に相談してください。ご不明な点などありましたら、末尾<sup>まさい</sup>に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。





## このお薬の効果は？

- このお薬は、アレルギー性疾患治療剤<sup>しっかんちりょうざい</sup>と呼ばれるグループに属する薬です。
- このお薬は、アレルギーの原因となる物質（ヒスタミン）や炎症<sup>えんしん</sup>を起こす物質の作用を抑え、アレルギー症状<sup>しょうじょう</sup>を改善します。
- このお薬は次の目的で服用いただけます。

花粉<sup>しつないじん</sup>、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー症状<sup>しょうじょう</sup>の緩和：  
くしゃみ、鼻みず、鼻づまり

## このお薬の使い方は？

### ●服用量および回数

年齢	1回量	服用回数
7才～11才の小児	1錠 	1日2回 朝  夕 
12才～14才の小児	2錠 	
7才未満の小児	服用しないこと	

※服用に際しては、製品に同封<sup>どうふう</sup>されている説明文書を必ずお読みの上、用法・用量を守って、正しくお使いください。

### ●どのように飲むか？

上記の量をコップ1杯程度の水又はぬるま湯で飲んでください。



- 花粉などの季節性のアレルギー性鼻炎症状<sup>しょうじょう</sup>に使用する場合は、花粉飛散予測日から、又は、症状<sup>しょうじょう</sup>が出始めたら早めに服用を始めると効果的です。

### ●多く服用した時（過量服用時）の対応

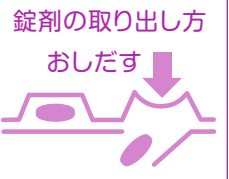
誤って過量服用<sup>かりよう</sup>した場合には、医師又は薬剤師<sup>やくざいし</sup>に相談してください。

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

### ●錠剤の取り出し方

錠剤の入っているシートの凸部を指先で強く押して裏面の膜を破り、錠剤を取り出して服用してください。

（誤ってシートのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながります。）



## このお薬を服用する前に確認すべきことは？

以下の項目をチェックして、本剤が服用できることを確認してください。  
「はい」「いいえ」でお答えください。

1 次の項目をチェック☑してください。該当する項目がひとつでもありますか？

- 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 7才未満の小児

いいえ

はい

このお薬を服用することはできません

2 次の項目をチェック☑してください。該当する項目がひとつでもありますか？

- 医師の治療を受けている人
- アレルギー性鼻炎か、かぜ等他の原因によるものかわからない人
- 気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎等の他のアレルギー疾患の診断を受けたことがある人
- 鼻づまりの症状が強い人
- 妊婦又は妊娠していると思われる人\*
- 高齢者\*
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 過去にアレルギー性鼻炎と診断されたことがない人

「くしゃみ」「鼻みず」「鼻づまり」の他に次のような症状がある場合には、アレルギー性鼻炎ではなく、『かぜ』『気管支ぜんそく』『副鼻腔炎』の可能性がります。

- 「発熱」「せき」「黄色で粘りのある鼻みず」「のどの痛み」など  
→ 『かぜ』の可能性がります。
- 「息苦しさ」「喘鳴（息を吐くとき「ゼーゼー」「ヒューヒュー」音がする）」など  
→ 『気管支ぜんそく』の可能性がります。
- 「黄色又は黄緑色でドロツとした鼻みず」「ドロツとした鼻みずがのどにたれる」「痰を伴うせき」「鼻、鼻のまわりの痛み」など  
→ 『副鼻腔炎』の可能性がります。

このような症状がある場合は医師又は薬剤師にご相談ください。

いいえ

はい

服用できます

医師又は薬剤師にご相談ください

\* 本剤は7才以上15才未満の小児用ですが、鼻炎用内服薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

## このお薬の服用中に気をつけなければならないことは？

● 3～4日間服用しても症状の改善がみられない場合は服用を中止し、医師（耳鼻科医等）又は薬剤師に相談してください。また、症状の改善がみられても2週間を超えて服用する場合は、医師（耳鼻科医等）又は薬剤師に相談してください。

● 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

- ・他のアレルギー用薬（皮膚疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む）
- ・抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等  
（かぜ薬、鎮咳去痰薬※1、乗物酔い薬、催眠鎮静薬※2等）
- ・制酸剤※3（水酸化アルミニウム・水酸化マグネシウム含有製剤）
- ・エリスロマイシン※4



● 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。\*

● 服用前後は飲酒しないでください。\*

※1 鎮咳去痰薬（咳をしずめ痰を出しやすくする薬）

※2 催眠鎮静薬（眠りに導いたり、気持ちを落ち着かせたりする薬）

※3 制酸剤（胃酸を中和して、胸やけ・むかつきなどの症状をやわらげる薬）

※4 エリスロマイシン（抗生物質）

\* 本剤は7才以上15才未満の小児用ですが、鼻炎用内服薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

## このお薬の副作用は？

(1) 服用後、以下の症状があらわれた場合は副作用の可能性あります。

このような場合は、直ちに服用を中止し、説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	のど・まぶた・口唇等のはれ、発疹、かゆみ、じんましん、皮膚が赤くなる
消化器	はきけ、嘔吐、腹痛、消化不良
精神神経系	しびれ感、頭痛、疲労、倦怠感、めまい、不眠、神経過敏、悪夢、睡眠障害
泌尿器	頻尿、排尿困難
その他	動悸、味覚異常、浮腫、胸痛、呼吸困難、血圧上昇、月経異常

(2) まれに起こる特にご注意ください副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じ時期にあらわれることが一般的です。その場合は、直ちに服用を中止し、医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
無顆粒球症、白血球減少、好中球減少	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

左記(2)の副作用の自覚症状を、症状のあらわれる部位別に並べ替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、(2) 特にご注意ください副作用の表などをご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、発熱、さむけ
頭部	意識がうすれる、意識の低下、考えがまとまらない
眼	白目が黄色くなる
口や喉	しゃがれ声、くしゃみ、のどのかゆみ、のどの痛み
胸部	息苦しい、息切れ、動悸
腹部	食欲不振
皮膚	じんましん、発疹、かゆみ、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	判断力の低下

(3) 服用後、次のような症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

口のかわき、便秘、下痢、眠気